



鳥取こども学園 学園だより

第 25 号
2009年 6 月 1 日

○発行
鳥取市立川町 5 丁目 417 番地
鳥取こども学園後援会
電話 (0857) 22-4206

○振込口座
郵便振替 01490-9-9106
題字 尾崎悌之助

鳥取こども学園と「時」

鳥取こども学園 理事長 尾崎 倭子

天が下のすべての事には季節があり、
すべてのわざには時がある

(「くは」の言葉 三十一)

神様は私たちにそれぞれ時宜にかなった時を与えてくださいました。鳥取こども学園の歴史と現在を考えてみますとき、「時」の重くて深い意味を思わずにはいられません。

一〇〇年余り昔、日露戦争の戦争孤児救済という大きな愛によって、鳥取こども学園は創設されました。神様に創設の「時」をお与えいただいたのです。鳥取大震災の



第二児童棟竣工式後の祝賀パーティー (H21. 2. 22)

後、こども達を自然豊かな環境の中で伸々と育てたいという願いは、現在の場所への移転の「時」となりました。そしてこどもの幸せは幼児期の環境が大切であるという確信が保育所「みどり園」の設立の「時」でした。時代と地域の要請に答えながら、心を寄せてくださる多くの人々の温かな心支援に支えられて、運営が続けられた鳥取こども学園は、情緒障害児短期治療施設「鳥取こども学園希望館」、こども家庭支援センター、自立援助ホーム「鳥取フレンド・倉吉スマイル」、乳児院、若者サポートステーション、地域生活支援「ひだまり」と多くの施設の設立の「時」をお与えいただきました。「時」を得て地域福祉の拠点となりました今、改めて責任の重さを痛感いたします。

しかし、こども学園の「時」をこのように考えますとき、「時」は神様がお定めになつて生まれるものなのでしょうか。私たちがアクティブな行動を起こし、それが神様の御心になつたものであれば「時」として与えてくださるものではないでしょうか。

「私たちは、こども一人ひとりのありのままを受容し、こども一人ひとりのかけがえない命をばくくみ育てることを使命としています。私たちはみんなが育ち合うことを理想にしています。これはこども学

園の基本理念です。この理念に従い創立の精神を心に刻みながら私たちは歩みを続けてきました。「キリスト教社会事業の献身性、先駆性を引継ぎ、社会的養護制度改革の先頭に立ちたい。」かつて藤野園長が学園だよりに記した言葉です。歴代の職員が献身はきつと神様の御心になつた働きだつたことでしょう。そして今、現状にとどまることなく広い視野と実行力でこども達へさらなる幸せを、社会へ訴え続ける先駆性も、神様の御心になつたものだと思います。

私たちは今、こども達のより幸せな養育を求める中で、それぞれにかなった「時」をいただいていると信じます。しかし現在のこども学園の諸施設の設立が本当に神様からいただいた「時」であったと確信できますのは、五〇年、一〇〇年先にこども学園の歴史を振り返ったときではないでしょうか。学園を支える学園の歴史に関わってくださった皆様に、それぞれの意義を認めていただき、なくてはならない施設として変わらぬ愛に包まれる時、それぞれの施設の創立が神様にいただいた「時」であったと言えるのではないのでしょうか。

神のなされることば
皆その時でかかつて美しい

(「くは」の言葉 三十一)

私たちは創立の理念をしっかりと受け止め、心を合わせ心を尽くしてひとときも休むことのない継続と存続に努めます。その時にかなって美しくありますように。皆様の変わらぬご支援のご指導を心よりお願い申し上げます。

法人本部

(藤野興一・記)

※第二児童棟(家庭舎)の竣工式を挙行。感謝。

大舎制から小舎制移行第一号の建物「家庭舎」が、四十八年振りに建て替えられ、平成二十一年二月二十二日(日)午後三時から、磯田教子鳥取県福祉保健部長をはじめ多くの来賓を迎え、竣工式を挙行した。本館二階会議室で挙式の後、「ひまわりホーム」「ふじホーム」に、子どもたちや職員でお客様をお迎えし、祝賀パーティーを行なった。

木造二階建て計三八四・三八平方メートル、総事業費八六、三〇八、八〇〇円であった。神様とお世話になった本当に多くの方々により感謝申し上げます。

※体育館改修・図書室兼学習室他増築工事も完成。感謝。

当初、(財)中央競馬馬主社会福祉財団補助金(五四九万円)を元に総事業費八〇〇万円で計画されたこの事業も、最近の耐震対策強化による建築基準法改正等により総事業費が大幅に膨らみ、補助金返還・事業中止も検討されたが、財団法人SBI寄付金(一、一四七、〇〇〇円)

及びエキスパートグループ社会貢献室寄付金(備品費二、五二九、四五〇円)もいただき、鳥取銀行から八〇〇万円の融資を受け、(株)懸樋工務店のご協力もあり、総事業費二〇、七五九、五五〇円でやっと年度内完成にこぎつけた。感謝。

※法人財政基盤強化と国の公的制度改革が急がれる。

公的制度改革に先駆け、あくまでも子どもの最善の利益を求め、建物整備や職員配置体制強化を進めてきた結果、現行の児童養護施設定員四五七名七ホーム(職員二八名)、乳児院定員一五名三ホーム(職員二名)、情短施設入所定員三〇名四ホーム・通所定員一五名(職員一八名)、一時保護ホーム(職員三名)、自立援助ホーム定員九名二ホーム(職員六名)、児童家庭支援センター(職員二名)、計六施設職員九〇名。これに保育所定員一五〇名(職員三二名)、地域若者サポートステーション(職員五名)、地域生活支援事業ひだまり(二名)を加え、法人全体の常勤職員は二二八名に上り、ギリギリの限界運営を迫られることとなった。かくして、法人財政基盤強化と更なる公的制度改革は緊急の至上命令となった。ご支援下さい。

2008年度各施設の月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
養護施設	未成年	1 ⁴⁴ ₁₀	1 ⁴⁴ ₁₀	1 ⁴⁴ ₁₀	1 ⁴⁴ ₁₀	1 ⁴⁴ ₁₁	1 ⁴³ ₁₁	1 ⁴³ ₁₁	1 ⁴³ ₁₁	1 ⁴³ ₁₁	1 ⁴⁴ ₁₁	1 ⁴⁵ ₁₁	1 ⁴⁵ ₁₁	12 ⁵²⁶ ₁₂₈
	児童	7 ¹² ₅	8 ¹³ ₅	6 ¹² ₆	7 ¹⁵ ₈	8 ¹⁵ ₇	8 ¹⁵ ₇	8 ¹⁵ ₇	8 ¹⁵ ₇	8 ¹⁵ ₇	8 ¹⁴ ₆	7 ¹⁴ ₇	7 ¹⁴ ₇	90 ¹⁶⁸ ₇₈
乳児院	0~1歳	28	28	28	28	30	28	29	30	30	30	30	30	349
	2歳以上	7	8	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	99
情短施設	入所	28	28	28	28	30	28	29	30	30	30	30	30	349
	通所	7	8	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	99
外来相談		実人数：1,214人 延人数：1,696人												
子ども家庭支援センター希望館		実相談件数(来所221、電話70、訪問143)：304件、延相談件数(来所514、電話279、訪問154)：947件												
鳥取フレンド		3	4	5	4	4	4	5	5	6	6	6	5	57
倉吉スマイル		6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	81
保育所		158	158	160	164	167	167	164	165	168	168	167	166	1,972
子育て支援センター	利用家庭数	175	183	287	282	235	346	331	165	247	196	239	284	2,970
	一日平均	9	8	11	12	10	17	14	7	11	10	10	11	130

本部会計決算書

収入

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
補助金収入	6,221,000	6,220,530	Δ 470
寄付金収入	17,217,000	17,737,816	520,816
雑収入	1,569,000	1,725,541	156,541
繰入金収入	880,000	937,659	57,659
受取利息収入	15,000	17,168	2,168
積立預金取崩収入	6,660,000	6,668,054	8,054
借入金収入	30,000,000	30,000,000	0
前期末支払資金残高	59,686,000	58,846,320	Δ 839,680
合計	122,248,000	122,153,088	Δ 94,912

支出

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	920,000	939,400	19,400
事務費支出	5,796,000	5,542,905	Δ 253,095
元利償還金	5,406,000	5,559,969	153,969
繰入金支出	3,081,000	3,081,000	0
固定資産取得支出	107,045,000	107,254,935	209,935
合計	122,248,000	122,378,209	130,209

収入支出差引残金 ￥ Δ 225,121 -

児童養護施設 鳥取こども学園

新しいお家になったよ

第二児童棟(家庭舎)が一月に完成し二月初旬に引越しをしました。子ども達は、楽しみで楽しみで建築中から「まだかな...まだかな...」と建物を横目待ち遠しくしております。

温かくても大きなお家ですよ。中学生のAは、休日の日には友人五、六人を呼び楽しそうに嬉しそうに過ごしています。高校生のSは、自分の空間が出来、快適のよう自分の時間を過ごす時間が長くなりました。部屋が広いものですから幼児・小学生達は、気付けば鬼ごっこ?をしていたり...

こんな感じで子ども達は、伸び伸びと生活しています。子ども達を想うたかさんの方々の想いあつての完成だと感じました。

ふじホーム保育士 中村美智子

子ども達より一言

●新しい家が出来たよ。私の部屋は、きれいです。家は、広いです。部屋が変わりました。新しい家に住めてよかったです。楽しい生活です。引越してきて良かったです。

ふじホーム 小2 Y・Y・I

●部屋が広くなったのが嬉しいです。冬には、こたつが置けるから嬉しいです。玄関も広いから良かったと思います。テレビは、大きくて見やすいと思います。

ふじホーム 小3 Y・Y・I

●工事をして下さった方への手紙を書いた子もいました！
きれいなお家を建てて頂いてありがた



うございました。工事をしてる時に早く新しいホームに入りたくてソワソワしていました。入ったらすこきれいだったし、広かったです。いつも忙しいのに私達のために工事をして下さってありがたございました。これからは、お体を、気を付けて下さい。これから仕事頑張ってください。

ふじホーム 中1 A・O

●あたらしいひまわりホームになって、トイレやお風呂がきれいになってうれしいです。きれいなお風呂であそぶのは、とてもうれしいです。

ひまわりホーム 小1 Y・Y・Y

●ぼくは、二歳からひまわりホームで生活していて、今は六年生です。今年になって新しいひまわりホームになりました。前のホームでは、トイレが遠くて行くのが大変だったけど、今のホームは近くだったので良かったです。あと、前のホームは部屋がせまかったけど、新しいホームは広くてエアコンもついているので、とてもうれしいです。新しいホームを作ってくれて本当にありがとうございます。

ひまわりホーム 小6 N・I

新任職員のご紹介



ふじホーム 小谷祐司
四月よりふじホームと一緒に生活しています。子どもと職員も交えて同じ空間を共有していると、家族がもう一つ増えたように心地よく過ごしています。まだ若干の緊張は抜けていませんが、こ

の家族から色々学びながら一緒に成長して行きたいです。



こどもホーム 中山 光
学園でお世話になりました。新しい所でも一からのスタートで毎日奮闘しています。職員の方々子どもたちとの出逢いを大切にし、自分なりに明るく笑顔でがんばっています☆



ふじホーム 高津健信
四月一日より、つくしホームで働いています。児童指導員の高津健信です。働き出してまだ間もないですが、子ども達と生活する中で、泣いたり、笑ったり、悩んだり、喜んだりして、一緒に成長できればと思います。これから色々ご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願ひします。



たんぽぽホーム 前田智美
四月からたんぽぽホームに来ました。前田智美です。出身が高知県なので土佐弁がよく出ると思っています。好きな物は、甘い物と文旦です。不器用なところがありますが、砂丘に骨を埋めるつもりで頑張りたいです。



調理員 山根知子
四月からも引き続きお仕事をさせて頂く事になりました。新しくたくさん覚えることもあり、たいへんですが、毎日仕事にやりがいを感じています。至らない部分が多いですが、自分なりに一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

児童養護施設「鳥取こども学園」施設会計決算書

収 入 (単位:円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	157,026,000	157,209,148	183,148
補助金収入	9,867,000	9,710,498	Δ 156,502
寄付金収入	213,000	212,500	Δ 500
私的契約利用料収入	300,000	332,600	32,600
雑 収 入	1,520,000	1,582,054	62,054
受取利息収入	14,000	13,995	Δ 5
積立預金取崩収入	3,157,000	2,732,689	Δ 424,311
合 計	172,097,000	171,793,484	Δ 303,516

支 出 (単位:円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	129,168,000	128,779,837	Δ 388,163
事務費支出	5,968,000	5,979,654	11,654
事業費支出	36,961,000	36,933,508	Δ 27,492
固定資産取得支出	0	100,485	100,485
合 計	172,097,000	171,793,484	Δ 303,516

収入支出差引残金の ¥0

乳 児 院
鳥取こども学園乳児部

新年度を迎えて

院長 田 中 佳代子

昨年度は、開設二年九月月めの七月に初めて、十五名定員満員となり本格的な施設運営の段階を迎えました。職員もこの間、いろいろな面で乳幼児の処遇について勉強・検討を重ね『乳児部』というお家を作ってきました。「おしっこ出さぬー」この前まで赤ちゃんだった男の子が自分でおしっこを知らせ排尿、ズボンを自分ではきだくて悪戦苦闘している姿を見て『子どもの成長は早い』と改めて思います。職員も負けないように日々研鑽を重ねています。

今年四月は、十二名の子ども達でのスタートです。健康で、伸び伸びと自分らしく育って欲しいと願っています。

今年度は、各ホームに男性職員を一名配置し、父性や視野の拡大を図りました。職員集団という大きな懐のなかで子ども達を見守り、共に成長を喜べる年にならしたいと思っています。

穏やかな日々の中、子ども達や職員の良い声が聞こえてくると私まで幸せに包まれます。一年通せばいろいろあると思いますが、良いスタートが切れました。

新任職員の自己紹介



かりんホーム 河津由幸
今年度から乳児部かりんホームへ配属となりました。

子どもたちの笑顔と泣き声、純粋な姿にパワーをもらいながら、日々小さな成長に感動しつつ生活しています。まずは関係作りを基本にゆつくりと子どもたちの成長を見守っていききたいと思っています。

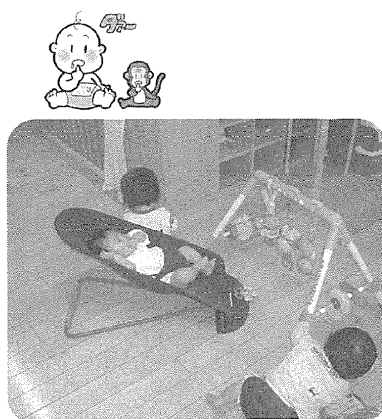
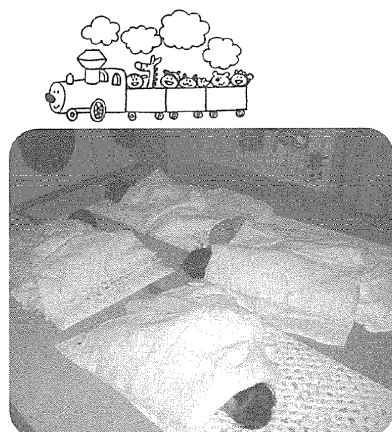


くろみホーム 竹下 敏

「あー。」「だここ？」
「飯だよ。」「うう」「猫？」
「飯だよ。」「うち」「あつち…あ、お野菜？」
「べっ」「えく？」
「汗じる？」「うわ」「あー、よかつたフォークをポイ。」「えー？投げたらいけんが？」
言葉にならない言葉を拾い、求めるものを採り当てる日々。「空気読め！」と、子どもに叱られています。



どんぐりホーム 中林美香
四月から乳児部の子ども達と一緒に生活している中林美香です。毎日、子どもたちの成長に驚きの連続です。子どもたちの成長に携わることができ喜びを感じると共に私自身も日々学んでいるところです。その中で、子どもたちの笑顔に元気をもらっています。



乳児院「鳥取こども学園乳児部」施設会計決算書

収 入 (単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	121,840,000	122,230,202	390,202
補助金収入	2,926,000	2,875,900	Δ 50,100
寄付金収入	110,000	124,500	14,500
雑 収 入	505,000	495,657	Δ 9,343
受取利息収入	26,000	26,151	151
合 計	125,407,000	125,752,410	345,410

支 出 (単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	106,498,000	106,420,546	Δ 77,454
事務費支出	4,964,000	4,974,942	10,942
事業費支出	10,890,000	10,869,901	Δ 20,099
固定資産取得支出	250,000	250,000	0
積立預金積立支出	0	3,000,000	3,000,000
予 備 費	2,805,000	0	Δ 2,805,000
合 計	125,407,000	125,515,389	108,389

収入支出差引残金の ¥ 237,021 - は次年度繰越

情短施設

鳥取子ども学園希望館

希望館この一年

館長 竹本芳宏

通所部門については別途報告記事を掲載しているため、ここでは入所部門についてこの一年の特徴を報告いたします。

その第一はホーム処遇を基本にブロック体制を強化し、男女別に中高生の自治会を組織して二年目の年であり、職員も児童も目的意識的に生活文化の向上に向けて取り組んだ年であったといえます。

特に、中高生会については子どもたちに役割意識が芽生え、自分たちが生活の主役との意識が定着してきているように思います。共同生活者としての生活部門の職員も、業務評価制度の試行と相まって、ブロック長やホーム長を中心に児童一人一人の個性を大切にしながらホーム全体の生活文化の向上を目指した年でありました。

また、これに刺激されて小学生会も組織され、職員主導ではあるものの、いろいろな行事を行う中で、自分たちが主役との芽が育ちつつあることも喜ばしいことです。

もう一つの特徴は、二人の年長児がそれぞれ的人生に向けて巣立って行ったことです。情緒障害児短期治療施設から社会的自立を目指した例は就任以来初めて

であり、これからの情短施設の新しい役割とも受け止めています。そのため、今以上にリービングケア（巣立ちのための援助）のノウハウを蓄積していく必要があり、二人とも期待と不安が半々の船出であり、アフターフォローをしっかりとしていくことが大切と考えています。これからの一年も当館（学園）の子ども達へのご理解とご支援をお願いいたします。



小学生会 スキー体験

入所部門

男子ブロック

こはとホーム

こはとホームは、沸点にはらつきがある山名・沸点の低い岡本・沸点が限りなく高い高橋の三人で二年目を迎えました。目標として「生活水準の向上」を掲げ、

ルールの少ないホーム作りを目指しています。子ども達も職員の意図を理解してくれ、一丸となり頑張っています。職員の見目は、子どもを見ることで一生懸命になり、自分自身に向けられる機会は少なく感じます。職員がお互いの目になり、自己研鑽でできる存在でありたいと願います。

わかばホーム

わかばホームは、上は専門学生から下は小学三年生まで幅広い年齢層のホームです。男子ホームで、時に元気がよすぎることもあり、ワイワイにぎやかな楽しいホームです。今年、職員も子どもメンバー構成が変わらず、ゆつたりとスタートすることができました。メンバーが変わらないからこそ、よりお互い思いやる気持ちを大切に生活していること子ども達と話合っています。四月から専門学校・高校・中学校に進学する子どもが三名おり、緊張と期待の入り混じった生活を日々送っています。職員も子ども達の成長を実感することができ嬉しく思います。

女子ブロック

のぎくホーム

四月三十日に、のぎくホームでは子どもと職員全員で夕食作りを行いました。いつもは炊事さんに作って頂いた食事を、何の気兼ねもなく食べているわけですが、準備から味付け、盛りつけに至るまで、全て自分達で行いました。メニューは、あんかけチャーハン、唐揚げ、サラダとデザートにフルーツ。平日だったので、買い出しは職員が行い、いつもは子ども

も買い出しからします。夕方から皆で調理を開始。「これどうするの?」「次は何をすればいい?」と、慣れないながらも楽しみながら作っている様子でした。悪戦苦闘しながら何とか完成、皆で「いただきます」をして、いつもの夕食以上に沢山食べ、会話ははずみました。

しらゆりホーム

「ただいま。」夕方四時を過ぎる頃より、子ども達の元気な声が響きます。しらゆりホームでは、現在、小学校四年生、高校三年生までの、六人の子も達が生活しています。四月になり、新学期を迎え、皆が一つずつ大きな学年へと進級しました。慣れない環境に戸惑いを示す子もいますが、ピンチはチャンス。問題解決を通して、より大きく成長していきますよう、頑張っています。

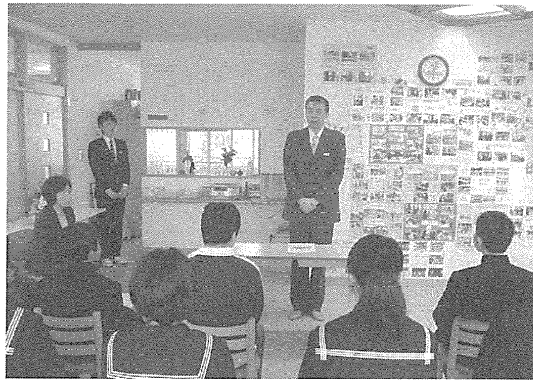
しらゆり、ファイター!!オー!!

通所部門

平成六年開設の希望館も早いもので十五年の月日を経て十八年目を迎えました。開設当初の通所部門は学校教育体制が十分ではなく、設置された施設内分教室に中学校教員一人、小学校教員一人の配置しかありませんでした。そのため、希望館のスタッフが入れ替わり立ち替わり授業補助に出るなど、職員総がかりで教育保障に努めていたことを思い出します。その後、通所（分教室）の定員増、市教委からの生活支援員の配置、高等学校からの研修教員の配置、入所児童・生徒

の分教室籍認定の開始等により、少しずつ教員の数を増やしてきました。そして今年度四月一日に中学校分教室が鳥取市立東中学校「のぞみ分校」として新たにスタートを切りました。

長年の念願だった通所教育部門の分校体制化が実現し、入・通所児の一層の教育の充実が図られたことを鳥取県、鳥取県教育委員会並びに鳥取市、鳥取市教育委員会他関係各位に心から感謝申し上げます。ご報告致します。



のぞみ分校開校式 国富校長先生のあいさつ

分校化に伴って配属された方は、
 教 頭 山本 博美先生(社会)
 教務主任 松下 成子先生(保健体育)
 進路指導 中西由美子先生(理科)
 教 諭 佐藤 直子先生(数学)
 教 諭 坂口 留果先生(英語)
 講 師 本城 勇一先生(数学)
 以上六名の方々ですが、

この他に、
 講 師 三谷 巍先生(美術)
 講 師 花岡 幸治先生(音楽)
 お二人の先生が、時間講師として分校の授業を担当されています。

また、小学校については、これまで通り鳥取市立修立小学校希望館分教室として、昨年度に引き続き小谷由樹男先生が配属されています。

通所教育部門の希望館スタッフには平野信貴セラピスト、山本詩織児童指導員の二人を配置。午後のグループワークに主導的に関わりながら、分校・分教室の先生方と協働しています。

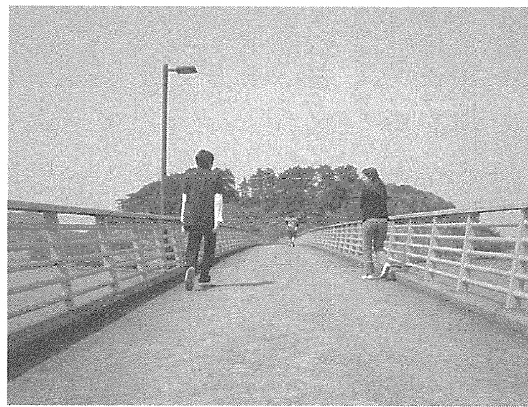
更に昨年度より新たに、通所の対象を中学校を卒業した子ども(過卒児)にも拡大。それに伴い、過卒児対応のスタッフに榎啓介児童指導員、細川知佳セラピストの二人を配置しています。以下、スタッフによる紹介文を掲載します。

児童指導員 榎 啓介

今年度は児童二名でスタート。学習・調理・お菓子・パン作り・もの作り・スポーツ等のプログラムに加え、交流を図るためいろいろな所に出かけたりしています。春には各地の桜の花見にはじまり、新緑の芦津溪を散策したりして楽しい時間を過ごしました。

通所という場が、人と関わる場として、さらには自己を成長させる場として機能できるようにしていきたいと思っています。まだまだ手探りの状態ですが、職員、子どもたちのやりたいことにどんどん取り組んでいこうと思っています。そして、

ここでの経験を何年後にあんな頃があったねと笑えたら素敵だなと思います。今後よろしくお願いします。



新任職員の自己紹介



児童指導員 山本詩織
 四月から分校・分教室
 でお世話になっています。

学園全体のことまだまだわからないことばかりで、戸惑いや不安も多々ありますが、毎日を元気に楽しく過ごしていきたいと思っています。大きな悩みや小さな悩み、全て大声でグラグラ笑って吹き飛ばしながらがんばります。よろしくお願ひします。

情短施設「鳥取子ども学園希望館」施設会計決算書

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	165,118,000	165,333,507	215,507
補助金収入	6,230,000	6,230,614	614
寄付金収入	122,000	207,800	85,800
雑 収 入	36,000	36,345	345
受取利息収入	14,000	27,881	13,881
合 計	171,520,000	171,836,147	316,147

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	130,742,000	130,637,961	Δ 104,039
事務費支出	8,221,000	7,638,426	Δ 582,574
事業費支出	28,862,000	25,706,525	Δ 3,155,475
積立預金積立支出	0	7,250,000	7,250,000
固定資産取得支出	0	593,250	593,250
予 備 費	3,695,000	0	Δ 3,695,000
合 計	171,520,000	171,826,162	Δ 306,162

収入支出差引残金 ￥9,985- は次年度繰越

保育所

鳥取みどり園

新しい年度を迎えて

園長 入江 一 枝

風薫る五月の空の下に、子ども達の元気な声が響いています。四月に入園した三十六名の子ども達も徐々に園の生活に慣れ、大好きな「お外」でも面白いおもしろい遊びを楽しめるようになってきました。みどり園の広い敷地は、四季折々の草花が咲き、昆虫が生息し、みどりの風が吹くすばらしい環境にあります。この環境はきつと子ども達の興味を刺激し、探究する心を育て、観察する目を養い、生命の尊さを知らせてくれると思います。

今年度も昨年度に引き続き「遊びを豊かにする保育環境を考える」を研究テーマとして、三歳未満児は「育児担当制による生活と遊び」を三歳以上児は異年齢組編成における「たて・よこ保育」を充実させて、子ども達一人ひとりが輝いて生活できるような職員みんなで考え、取り組んでいきたいと思えます。また、今年四月から新保育所保育指針が施行となりました。このことにより保育所の果たす役割や役割に伴う保育士の専門性への期待が高まり、それゆえの責任が大きくなると思われま。幼稚園と共に就学前教育を担う保育所が乳幼児期の子どもの育ちの連続性を踏まえ、保育内容の充実をより一層図っていかねばならない

と思います。保育を取りまく状況は予断を許さない時期ですが、「子どもの最善の利益」を守るため、職員が一丸となつて頑張りますのでよろしくお願いいたします。



共に子育てを

指導者 福田 淑子

新年度がスタートして一カ月が経ちました。生後一カ月の赤ちゃんから五歳の元気がいっぱいの子と達と、その保護者の方がたくさん遊びに来られています。初めて遊びに来られた時は、親子共々緊張した面持ちですが、子どもさんが興味のあるおもちゃを見つけて遊び始めると、お互いの表情が和らいで来ます。

「ここは、(部屋の作りや遊具の配置の仕方です)すぐ側に誰かがいて、気軽に話せる環境になっていていいですね。」とお母さん方によく言われます。初めての方でも、子どもさんの生活や発達、気になる事等について一緒に考え、話をすることもでき、たくさんの方の話が聞けるのでとても参考になるようです。私もそこで、様々な思いを持って遊びに来られるお母さん方の生の声を聞く事で、教えられたり、気付かされる事がたくさん

あります。これからも、子育てをする仲間として、子ども達やお母さん方の思いを受け止め、共に成長し合えるような関係を築いていきたいと思えます。

鳥取みどり園行事

- 12月20日 クリスマス祝会
- 1月16日 伝承あそび(祖父母と一緒に)
- 2月24日 参観日(保育参観・座談会)
- 2月15日 鳥取市児童文化祭(年長児が 銭太鼓で出演)
- 3月18日 シルエット劇場鑑賞(年長児) わくわく子育て支援センター「育児講座」
- 3月19日 講師 田中美幸氏
- 3月20日 修立校区保・幼・小交流会 (年長児)
- 3月20日 作品展
- 3月24日 交通安全教室(保護者会主催) ひなまつり
- 3月5日 平成二十一年度入所児説明会 & 身体検査
- 4月18日 お別れ会
- 4月28日 第五十八回卒園式
- 4月3日 進級式
- 4月23日 第五十九回入園式
- 5月12・13日 春の親子遠足(こども園) 保護者会総会
- 5月11・15日 蟻虫・尿検査(全園児)
- 5月14日 ワクワクひがし職場体験 学習(鳥取中二年生)
- 5月14日 健康診断(全園児) 園医 清水雅彦氏

保育所「鳥取みどり園」施設会計決算書

収 入 (単位:円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
運営費収入	127,351,000	128,421,220	70,220
補助金収入	17,939,000	19,552,561	1,563,561
寄付金収入	143,000	143,000	0
雑 収 入	660,000	665,048	5,048
利 用 料	500,000	539,250	39,250
受取利息収入	30,000	34,602	4,602
積立預金取崩収入	1,821,000	945,829	Δ 875,171
合 計	149,494,000	150,301,510	807,510

支 出 (単位:円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	127,188,000	126,975,331	Δ 212,669
事務費支出	5,236,000	5,088,218	Δ 147,782
事業費支出	15,550,000	16,717,949	1,167,949
固定資産取得支出	640,000	640,012	12
繰入金支出	880,000	880,000	0
合 計	149,494,000	150,301,510	807,510

収入支出差引残金 ￥0

児童家庭支援センター
子ども家庭支援センター「希望館」

子ども家庭支援センター「希望館」は、現在、全国に七十二ヶ所ある児童家庭支援センターの一つです。児童福祉法に基づき、県から認可を受けた児童・家庭に関する専門相談機関です。現在、中国地方には鳥取県他は山口県に、四国は各県にあり、昨年には中四国協議会ができました。この四月に改正法が施行され、これまでの児童福祉施設への附置という要件が撤廃されるなど拡充していく動きがあります。今後地域ニーズに応じることができ、より地域に根ざした相談機関として発展していくことが期待されています。

当センターは今年で開設十年目をむかえました。性格や発達の遅れに関連して子ども・家族親類との関わり方の悩みや育児疲れといった、親御さん（主にお母さん）からの相談が一番多いですが、子ども本人からの相談もあります。学校、保健センターや病院などの関係機関からの紹介もあります。どの方も強いストレス下におられるなか電話をかけてくれます（電話対応は本体施設の協力を得て、二十四時間受け付けており、緊急事例への早期の対応も可能になるようにしてお

ります。」「は相談をする場所ですか。」「どんな相談でもいいですか。」「といった言葉からお話を始められることが多いのですが、打ち明ける心づもりでかけてこられたその思いを頼りに、きつと何か確かめることができ、何かを見出せるのではないかという思いで、いっしょに見つめていきたいと思っています。たとえば、児童虐待は一つのトピックですが、こころの奥深い世界がその人に、そして社会にはあり、その感情のなかには人間としての尊厳がある…そこに原点があるのではないのでしょうか。

その後は、継続的な電話相談の他、親御さんとお子さんに来ていただいたお話しをうかがったり、了承を得て学校や関係機関とやりとりをしたり、精神科医と連携する場合もありますし、通所指導・心理療法など、必要に応じた継続的な支援をしていく流れになることが多いです。これは、当センターの現在の特徴であり、支援の中に広く深い本質的な意味合いでの寄り添いが位置づけられることが必要とされているのではないかとと思われるところではあります。

また、児童相談所からの指導委託を受けることもあります。当センターの機能として、家庭で一時的に子どもを養育することが困難になった場合には、ショートステイ（子育て短期利用事業）、トワ

イライトステイ（夜間一時保育）、また緊急の場合は一時保護の利用も可能です。この場合は、隣接する本体施設の一時預かりホームにて、専属の職員が対応にあたっています。一時保護は、児童相談所との協働のなかで、センターの職員も相談者への情報提供で役割を終えず、「家庭とのつながりを持ち、ていねいな関わりを持つ機会としていくことを話合っています。

県内ではすべての市町村に、要保護児童対策地域協議会が設置されました。地域社会の児童福祉の核となるべく協議会に期待されている役割はとも大きいですが、生まれたばかりの組織体系ですので、どうすれば十分に機能できるか模索している段階にあると言えるところです。ですが、子育ては日々つづくものですし、子どもは日々大きくなりますし、それぞれの方の人生の歩みは立ち止まることできません。当センターは、県内児童養護施設・子どもの虐待防止ネットワーク鳥取との連携を通し、よりご家庭への関わりの視点や接点や他機関との協働もふくめた実践を多層的に持つことが可能です。地域社会のネットワークの一員として、そして、たずさわる機会を得ることができるところにいる機関として、何ができるのかを考えながらできるだけのことをしたいものです。

子ども家庭支援センター「希望館」施設会計決算書

収 入		(単位：円)	
科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
補助金収入	9,415,000	9,415,000	0
繰入金収入	881,000	881,000	0
合 計	10,296,000	10,296,000	0

支 出		(単位：円)	
科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	8,741,000	8,752,289	11,289
事務費支出	1,555,000	1,486,052	△ 68,948
繰入金支出	0	57,659	57,659
合 計	10,296,000	10,296,000	0

収入支出差引残金 ￥0

自立援助ホーム 鳥取フレンド

寮長 山中友子

平成二十年度は、それまで比較的長く入居していた子が退去した後で、新しい雰囲気ですスタートしました。以前にフレンドを利用していた人の再入居もありましたし、その中でも三十五歳の男性については、在籍にはカウントできないけれども空き室を一時的に利用したという状況で約三ヶ月フレンドで生活しました。また、新しい職員がフレンドに住み込んで生活の中に入り込んでくれたことも、それまでとは異なる形でした。

自立援助ホーム 「鳥取フレンド」施設会計決算書

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
措置費収入	402,000	401,850	△ 150
補助金収入	9,929,000	9,929,000	0
寄付金収入	284,000	253,500	△ 30,500
利用料収入	900,000	964,000	64,000
雑 収 入	1,560,000	1,558,990	△ 1,010
受取利息収入	5,000	4,348	△ 652
前期末支払資金残高	515,000	648,755	133,755
合 計	13,595,000	13,760,443	165,443

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	9,865,000	9,838,298	△ 26,702
事務費支出	1,529,000	1,616,762	87,762
事業費支出	2,201,000	2,305,383	104,383
繰入金支出	0	0	0
合 計	13,595,000	13,760,443	165,443

収入支出差引残金 ￥0

寮生たちは それぞれ仕事に就き、あるいは求職活動をし生活するのですが、

例えば、試験観察が無事に終了することとか、携帯電話を持つこととか、近い目標を一つずつクリアすることで、それが自分らしい生活を作って行きます。昨年十二月に女子が入るまでは男子五名で生活していて、八月に倉吉スマイルとの合同バーベキューをしたことはとても楽しい思い出になりました。しかし、年度末頃、器物損壊で警察沙汰になり、改めて各人との信頼関係の構築の大切さを痛感しています。

今年度は、大屋さんである園長のご厚意により、老朽化していた西町フレンドの建替えをして頂いており、七月末頃には新しいフレンドで生活できる予定です。感謝です。また、職員三人体制で寮生

寮生たちは それぞれ仕事に就き、あるいは求職活動をし生活するのですが、

の定員も男女九名としました。法改正により、運営が厳しくなっていますが、本来の意義を見失わぬよう誠意を尽くしたいと思います。

新任職員の自己紹介



保健師 岡田佳那子

三十路を迎えたこの春、思い立って精神科医療から児童福祉の現場へと飛び込んできました。新しい出会いに喜びを感じつつ、自らを省みる毎日です。寮生のみなさんと共に時を過ごし、身近な存在となっていけたらと思っています。

自立援助ホーム

倉吉スマイル

寮長 田村 崇

倉吉スマイルは今年で五年目を迎えます。今年度は法改正もあり、運営面でも多くの方々に多大なご心配をおかけしていることもよく理解しております。それでも我々は、日々子どもたちとの暮らしを大切に、一人ひとりが自分たちの目標に向かって不安なく進んでいけるよう、寄り添って支えていきたいと思っています。今年度から職員の体制も念願の常勤三人になり、これまで以上にゆとりをもつて子どもたちとの生活を送ることができております。特に子どもたちがその

変化を敏感に感じているようで、「田村さん最近表情が穏やかだな」と言われました。勿論、これまでいっつも険しい顔をして過ごしていたわけではないですが、慌ただしく日々を送っていたのは事実で、自分で気がつかないところで、そんな風に子どもたちに感じさせてたんだと反省しています。せつかく「スマイル」を掲げてスタートしたこの自立援助ホーム、笑顔をやささず！をモットーに今年度も職員三人力を合わせていこうと思っていますので、「ご支援とご理解よろしくお願ひいたします。

職員の自己紹介

保育士 西村義裕

今年度で三年目になります。最近になりようやく余裕を持って過ごせるようになりました。見よう見まねでやっていた事も、今では自ら動いているかなと思います。今年度からスマイルも三人体制になり、職員にとっても子ども達にとっても安心感が出てきていると思います。これからも、子ども達と一緒に歩いて行きたいと思っています。

保育士 松本育世

今年四月より倉吉スマイルでお世話になっております。当初たくさん不安がありました。職員の方々子どもたちに助けてもらいながら過ごさせてもらっています。まだまだ戸惑うことも様々ありますが、子どもたちと一緒にスマイルで生活していければと思っています。

自立援助ホーム「倉吉スマイル」施設会計決算書

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
補助金収入	9,775,000	9,775,000	0
寄付金収入	150,000	150,000	0
利用料収入	900,000	860,000	△ 40,000
雑 収 入	80,000	42,000	△ 38,000
受取利息収入	3,000	2,711	△ 289
繰入金収入	2,200,000	2,200,000	0
前期末支払資金残高*	528,000	483,898	△ 44,102
合 計	13,636,000	13,513,609	△122,391

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
人件費支出	8,754,000	8,717,939	△ 36,061
事務費支出	1,411,000	1,379,309	△ 31,691
事業費支出	3,403,000	3,416,361	13,361
予 備 費	68,000	0	△ 68,000
合 計	13,636,000	13,513,609	△ 122,391

収入支出差引残金 ￥0

地域若者サポートステーション事業
とつとり若者
サポートステーション

とつとり若者サポートステーションは、何らかの不安や悩みがあり、働きたくても働けないあるいは社会参加に困難を抱えている若者の就労・社会参加への支援を行っています。

昨年度は延べ人数にして、約千人が当所を利用されました。初年度ということもあり、十分な支援を行うことができませんでした。スタッフが利用者と共に自分自身を振り返りながら成長を続けた一年でした。

今年度はスタッフの人数も増え、支援内容をわかりやすく充実したものにしていきたいと考えています。特に利用者が集まって活動を行うグループワークを充実させ、利用者のコミュニケーション能力の向上へつなげていきたいと思っています。また昨年度から実施していた倉吉での出張相談に加えて、五月八日から毎週金曜日、米子でも出張相談を開始します。

まだまだ課題も多いサポートですが、利用者に寄り添いながら、一步一步進んでいきたいと思います。

新任職員のご紹介



統括コーディネーター
山本憲二
Uターンの再就職で学園に奉職させていただきます。

若者サポートステーション(略称サポステ)に勤務しています。サポステの一員の前に学園職員として、新任研修で教えていただいたことを胸裡に日々仕事に力ながら具現していきたいと思えます。

来所される方々に「よりそつ」姿勢でスタッフの皆さんが少しでも動きやすいように心がけてゆきます。



心理カウンセラー兼
キャリアカウンセラー
高橋和枝
四月からとつとり若者サポートステーションで

心理カウンセラー兼キャリアカウンセラーとして、勤務しています。わからないことばかりで、諸先輩方にはご迷惑ばかりおかけしています。今の私にできることを精一杯なりに全力で頑張りたいと思っています。まだまだ勉強中の身ですが、いろんなことをスポンジのように吸収しながら成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



支援員
福田光明
二年間人生の「林住期」を満喫していましたが、縁あって若者サポートステーションに奉公することになりました。週二日ですが、若いスタッフに元気をもらいながら、経験を役立てるように頑張りたいと思っています。

この三人に加えて、キャリアカウンセラーの小原ちはるさんが仲間になりました。小原さんには主に米子・倉吉の出張相談で担当として活躍していただきます。

地域生活支援事業
ひだまり

「ひだまり」の開所から半年が経過しました。

この間、多くの相談があり、それぞれの問題について「相談を受け支援する」という考えではなく「困りごとについて一緒に考え、解決策を探していく」という視点で相談者に寄り添った取り組みを目指しています。

今、一番多い相談は、不景気による失業問題です。この問題については、必要に応じて若者サポートステーションやヤングハローワークなどの関係機関と協同して進めており、地域資源の開拓、活用も課題のひとつです。

グループ活動については、さまざまなイベントを開きました。その中でも、月に一度の「お菓子作り」「食事会・誕生会」は定例となり、お菓子づくりは特に子どもがいるOB・OGの参加を呼びかけています。出来上がったお菓子は、誕生会でその月の誕生者にプレゼントしており、作る側、もらう側双方から好評を博しています。食事会・誕生会では、毎回二十人前後が集まり、賑やかに会食しています。このようなイベントを通して児童養護施設等のOB・OGのネットワーク作りを進めています。

他県でも、東京・大阪・千葉・名古屋などで児童養護施設OB・OGのグループ活動が行われており、活動の様子を互いに報告しています。将来的には「全国のネットワークを作ろう」という話も出ています。

前例がない事業ですので、手探りではありますが、たくさんの方に、助言とご支援をいただきながら取り組んでいます。ご協力いただいている多くの皆様へ感謝しながら、これからも「気軽に立ち寄ることができる場所。みんなが仲良く楽しめる場所。困ったことを相談できる場所」を目指していきたいと考えています。

**当学園事業へのご寄付
後援会へのご加入に
感謝申し上げます。**

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、
後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は
下記のとおりです。

心より感謝し、ご報告申し上げます。

寄 付 者 (2008.12月～2009.5月)

(敬称略)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
(財)SBI子ども希望財団	尾崎美幸	佐々木政枝	鳥取県労働者福祉協議会中部支部
(社福)あけの星会	尾崎倅子	貞光由紀	鳥取県労働者福祉協議会東部支部
3Hの会	小尾康友	澤田孝義	鳥取更生保護女性会
愛真幼稚園	海藤ひろみ	サンライズ工業(株)	鳥取産業体育館レディースバドミントン愛好者会
赤山建築設計事務所	鍵本比呂志	仕出し料理やまもと	鳥取少年鑑別所
明里好弘	柏女 霊峰	柴田和仁	鳥取市立城北小学校PTA
秋崎るり子	片山正見	柴田直樹	鳥取白バラ乳販(株)
朝倉通憲	学校法人 矢谷学園	柴田尚美	鳥取新生教会
浅田悦子	勝原俊恵	清水雅彦	鳥取友の会
安住庸雄	加藤和徳	霜村 勲	鳥取みどり園
雨河一就	金子りつ子	白井道子	鳥取ライオンズクラブ
荒川淑子	金田隆臣	杉村英子	戸村 誠子
育児サークルキままッズCLUB	叶原土筆よ	砂川晋治・真理	鳥山 玲子
井口壬生隆	鎌谷裕治子	勢木宇太郎	長井 素子
池田晴三郎	蒲川映七子	千代西尾道見	仲市 直昭
石川省太郎	川口佐七子	曾我修道二	中尾 文裕
石田文三	河田瑛次	高瀬海伊佐夫	中川 正道
石戸珠代	河川端勇弘	高橋昌俊	中村 齒科 医院
石渡 禎一	河岸 充恵	田口 敏	仲山 喜夫
泉台地区民生委員・児童委員協議会	岸 田 彬	竹下 敏	難波 幸子
磯田教子	岸 田 洋	竹下 薫	西浦 公子
市川元子	岸 本 順	竹本 佳代子	西村 照子
井上仁・恭子	岸 本 政	田中 儀	年末チャリティもちつき大会
井上裕美子	岸 本 律	田中 憲	信原 修
井本義孝	木村武生	田中 工 業	橋詰 隼人・一枝
岩田美代子	木村 肇	田中 耕	橋原 正彦
岩淵美	クノタクキ	田中 当	橋本 英恵
因伯子供学	倉吉遊技業防犯組合	田中 洋	橋本 美史
植田望子	気高町更正保護女性会	谷口 繁	花木 正美
上村優子	光徳子供学園	谷口 尚	浜田 久素
白井里伸	郡 孝幸	谷口 義	浜田 敬二郎
梅澤潤一	国際ソロプチミスト鳥取	谷口 明	林 義雄
江谷孝啓	小谷 寿子	谷口 正道	原 雅子
榎奥羽徳	小長井 賀	玉木 敏久	パルス電工(有)
大倉幸正	小橋 房	田村 愛	日海通信工業(株)
大坪平千恵	小畑 修	田村 明	東成区更生保護女性会
大岡村俊	小原 秀	田山 喜久雄	平野辰郎・和江
岡川協隆	小原 知	束原 克美	平野 正子
小奥野	小駒 井重	土江 成史	深井 博
	近藤 明彦	鳥取医療器(株)	福島 巖二
	藤 春代	鳥取教会	福田 明彦
		鳥取教会シオン会	福田 源次郎
		鳥取県教職員組合東部支部	福永裕子・柳川和子

(寄付者続き)

氏名	氏名	氏名	氏名
福間悦夫	松村栄子	山口公一	吉永清
藤井重明	松本剛典	山口登貴	四ツ葉園天使
富士一郎	松本剛典	山田建設	米子聖園
藤井喜臣	松山順子	山下弘	米澤恒
藤野興一	丸山順子	山下史	米村友孝
藤野覚	三木康二	山白史	米本哲人
藤本奎吾	三代修二	山田弘	ラスベガス郡家
藤原雅夫	水谷昭二	山中捷二	口一マ鳥取店
船山章一	水本清子	山中友昭	脇本雄一郎
古川潤子	光田澄子	山根一章	渡辺隆夫
古田操子	無村名	山根一章	㈱アクティ鳥取
木ットほっとクラブ	村上取子	山根浩	㈱懸樋工務店
堀内苑生	村瀬嘉代子	山本茎	㈱三栄
堀内正人	本部友智子	山本智	㈱テクノ工業
前田豊	百村和子	山本伸	㈱日栄住宅安全衛生会
巻田豊	盛田和子	山本博	㈱ヤマネ機材
松岡京子	八頭更生保護女性会 西村由利恵	由井美知子	㈱イナバ葬祭センター
松谷ボンブ	安田俊秀	湯谷眞人	㈱亀井堂
松永隆夫	矢田さつき	湯村正仁	
松原菜津子	山内省二	湯吉田由美	

物品寄付者 (2008.12月~2009.5月)

(敬称略)

氏名	氏名	氏名	氏名
(財)鳥取市学校給食会	光琳グループ猪口吉野	鳥取敬愛高等学校家庭科クラブ	山本敬二商店
(社福)手をつなぐ福祉かめの会	国分由美	鳥取県中小企業団体中央会	山本伸子
CYCLE SHOPフクハマ	このゆびとーまれ	鳥取県ろうあ団体連合会女性部	山本正明
SANYOグループ	坂本亨	鳥取更生保護女性会	吉田雅道
UFO扇町店	澤田辰子	鳥取市立修立小学校	ラスベガス郡家
浅井慶紀	山陰中央新報	日本鏡餅組合	リヨンリヨンLLP
石田雅栄	三友商事	野倉恵	コココはたやま
石原千鶴子	資生堂社会福祉事業財団	白兔会館	㈱ジャパンエナジー
今井書店出版企画部	全国シャンメリー協同組合	ぱにーに	㈱創成社 塚田尚寛
岩本直文・純子	全国農業協同組合中央会	パンドラの箱 前田政友	㈱竹中工務店鳥取営業所
上田包装企業(株)鳥取支店	大樹寺	フィリップモリスジャパン(株)	㈱野津珈琲 野津芳男
上野悦子	高野晃一	福寿みどり	㈱香風堂
加藤宥	高橋孝平	前田崇明	浩の会亭
力マ	竹内美樹	三好俊夫	海陽
倉元	田中温子	無名氏	
黒川和子	中国アイスクリーム協会	ヤッホーキッズ	
桑本茂雄	鳥取キルトクラブ	山根一昭	

会費・寄付金は下記へお願いします

鳥取こども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取こども学園内

☎ (0857) 22-4206・21-9551 FAX23-0242

振込み口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 尾崎淑子

振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812

鳥取銀行本店 普通 7645611

お願い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設での出来事、様子等を報告する意味で発刊しています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考慮のことですので、ご理解いただけますようお願い致します。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。